

平成30年1月29日

報道機関 各位

熊本大学

熊本大学ましきラボ**「27m県道の姿をみんなで考える
オープンラボ」開催のお知らせ**

熊本大学ましきラボは、熊本地震で甚大な被害を受けた益城町において、オープンラボ、勉強会開催などで住民と行政のつなぎ役としての活動を行ってきました。それらの活動において、益城町の復興まちづくりについて住民の皆様から様々な声を伺ってきました。特に、幅員27mの県道熊本高森線の四車線化については、期待の声がある一方、安全性や地域の分断等への不安の声も伺っています。

私たちましきラボは、道路の作り方の工夫で、この27m道路は使いやすく安全であると同時に、歩いて楽しい賑わいのある空間、そして地域性に配慮した道路景観が実現できると考えています。今回、ましきラボが製作した模型を用いて、この道の作り方の3つのプランを提示し、それらへのご意見をいただきながら、今後の益城のまちづくりを住民の皆さんと一緒に話し合うイベントを下記の通り開催いたします。

つきましては、広く一般の方へお知らせいただくとともに、当日の取材方、よろしくお願いいたします。

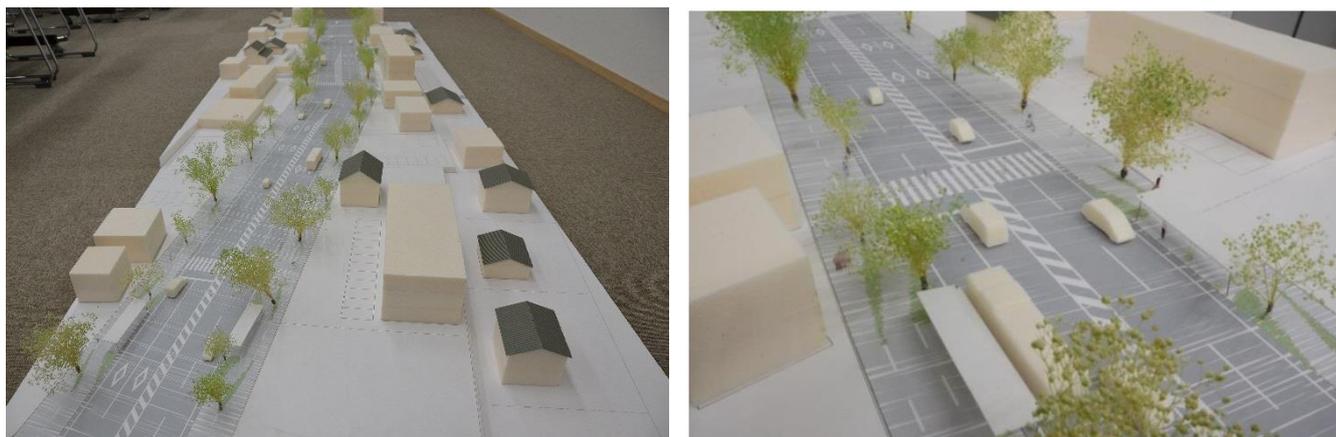
記

イベント名： 「27m県道の姿をみんなで考えるオープンラボ」
日 時： 平成30年2月21日（水）19:00～21:00
場 所： 益城町役場 仮設庁舎 別館2階 大会議室
主 催： 熊本大学ましきラボ
対 象： 主に益城町町民 入場無料 事前申し込み不要

＜お問い合わせ先＞

熊本大学ましきラボ
(熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター
地域デザイン部門 内)
担当： 小川, 星野, 円山
TEL & FAX: 096-342-3489
e-mail: mashikilab@kumamoto-u.ac.jp

(参考資料)



ましきラボが製作した 27m 県道の道路模型例

2月24日(土)以降のましきラボのオープンラボ(毎週土曜日 14 -17 時)でも模型を展示します。

住民と行政とましきラボの関係

